

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年01月09日

計画の名称	公共交通ネットワークの重要な結節点となる主要なバス停の待合環境整備												
計画の期間	令和05年度 ~ 令和07年度 (3年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	山形市												
計画の目標	<p>山形市では、公共交通における「高齢者などの不安と多様なニーズへの対応」、「利用が伸びない公共交通サービス」、「日常生活における自家用車の多用」といった様々な課題に対応するため、「交通軸」と「交通結節点」の形成による公共交通ネットワークの構築を図ることで、「自家用車に頼らなくても誰もが快適に移動できる環境の実現」を目指している。</p> <p>令和4年6月に策定した「山形市交通結節点整備方針」に基づき、交通事業者といった関係機関との連携のもと、円滑な乗り換えや快適な待合機能を兼ね備えた交通結節点の整備を推進し、公共交通の利便性向上と利用促進を目指す。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	207	A	207	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R5当初)	中間目標値	最終目標値 (R7末)
1	公共交通の利用者数を5,349千人/年(R4年度末)から6,138千人/年(R7年度末)に増加させる。 市内路線バス及びコミュニティバスの利用者数の計	5349千人	千人	6138千人
2	公的資金が投入されている公共交通事業の収支率を58%(R4年度末)から65%(R7年度末)に増加させる。 路線バス赤字路線及びコミュニティバスの収支	58%	%	65%
3	路線バス等の情報提供に対する満足度を26%(R2年度)から39%(R7年度末)に増加させる。 日常の外出と公共交通に関するアンケート調査(R2公共交通計画策定時実施)の情報提供(時刻表、公共交通マップ、系統番号など)に関する満足度の割合 情報提供に関し、「満足」及び「やや満足」と答えた市民の割合	26%	%	39%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
地域公共交通再構築 事業	A17-001	地域交通	一般	山形市	直接	山形市	-	-	山形駅東口駅前広場他バ ス停等整備事業	バス施設整備	山形市						200	4.12	-
	A17-002	地域交通	一般	山形市	間接	山交バス株 式会社	-	-	山交ビルバスターミナル バス停等整備事業	バス施設整備	山形市						7	4.12	-
											小計						207		
											合計						207		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					